

授業科目 レクリエーション基礎論

【担当教員名】 小田切 毅一		対象学年	1	対象学科	ｽｽ
		開講時期	前期	必修・選択	必修
		単位数	2	時間数	30
【＜概要＞又は＜一般目標：G I O＞】 レクリエーション指導をするに当たって必要な、基礎的な理論と原理を学ぶとともに、レクリエーションを必要とする現代生活の多用な局面に応じて、レクリエーションを指導・管理するための基礎的教養を身につける。					
【＜学習目標＞又は＜行動目標：S B O＞】 1. 労働と余暇の関係論に基づいてレクリエーションを説明できる 2. 社会運動としてのレクリエーションの運動の意義について説明できる 3. 現代社会におけるレクリエーション指導の意義について説明できる 4. ニューススポーツ論とかかわるレクリエーション指導の要請に応える基本的説明が出来る					
回数	授業計画又は学習の主題			SBO	
				番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
	1 はじめに：レクリエーションとは何か：言葉「レクリエーション」を考える 2 レクリエーションとは何か：「支援者」にとつてのレクリエーション 3 「遊び論」の広がりレクリエーション支援 4 「ホモ・ルーデンス」的人間観、レクリエーション支援の立場に立ったゲーム活用術 5 社会運動としてのレクリエーション（１）：モデルとしてのアメリカと日本の事例など 6 社会運動としてのレクリエーション（２）：「支援者」に期待される役割 7 「みんなの生涯レクリエーション」を考える 8 ライフステージ上での生活課題とレクリエーション、遊びを選ぶなど 9 人間関係論の視野からみたレクリエーション指導 10 アイスブレイキングの意義、コミュニケーション・ワークとしてのレクリエーション 11 余暇行動論の視野からみたレクリエーション、余暇行動の実体から学ぶ、 12 福祉社会論の視野からみたレクリエーション・ワーク、その実践事例 13 ニューススポーツ論の視野からみたレクリエーションのプログラム・事業 14 総括：レクリエーション指導論まとめ				
【使用図書】		＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格・その他＞
教科書 (必ず購入する書籍)		授業の際に、適宜資料を配付			
参考書		西田碩哉『遊びと仕事の人間学』遊戯社 日本レクリエーション協会編『豊かに遊べる仕組みをつくる』日本レクリエーション協会			
その他の資料					
【評価方法】 出席および小レポート(毎時間)：50%、 期末試験：50%			【履修上の留意点】		